

アカウミガメの調査と保護



専門的な調査を行う『三重大学ウミガメ・スナメリ調査・保全サークル「かめつぷり」』と連携して、産卵や孵化率などの調査を行っています。このような調査は、採捕承認を受けて実施しています。一般には三重海区漁業調整委員会指示により、承認がなければアカウミガメ(卵を含む)を獲ったり、捕まえたりできないので注意しましょう。

1 足跡(上陸)調査

5～8月、アカウミガメが上陸・産卵します。ウミガメの足跡の目撃情報が入ると、できるだけ早く砂浜へ向かいます。



3 アカウミガメの保護

1 産卵巣の保護



野生動物による捕食などから保護するため、産卵巣の上に①保護柵を設置します。

また卵が孵化して、砂の中から脱出した子ガメが安全に海へ帰ることができるように②『ウミガメロード』を整備しています。

2 『ウミガメロード』の整備



※保護柵などの設置については、海岸の管理者である行政機関などの許可を受けて行っています。

2 産卵調査

①のように『カモフラージュ』(ウミガメが産卵後に穴を埋め、どこへ卵を産んだかを隠すために砂を撒き散らす行為)の跡が確認できたら、産卵巣をさがして卵があるかを調べます。掘る時は卵を傷つけないよう道具は使わずに素手で砂を掘ります。② 卵が確認できたら、取り出さずに再び埋めます。



5 調査報告

平成 26 年 三重県北中部(四日市市～津市)の海岸でのアカウミガメの産卵と子ガメの孵化・地上脱出

場所	産卵日(推定)	子ガメの脱出日	脱出日数(個)	孵化率調査日	卵数(個)	孵化数(個)	未孵化卵数(個)							孵化率(%)	脱出率(%)	産卵下(卵)までの距離(cm)
							未発生	初期	中期	後期	成熟	食害	計			
津市阿波	6月19日	8月29日	72	9月5日	103	88	14	0	0	1	0	0	15	85.4	85.4	70
熊鷹市越ヶ浦	6月23日	9月1日	70	9月16日	139	16	9	1	11	91	1	10	123	11.5	11.5	45.8
津市阿波	7月1日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
津市阿波	7月3日	9月9日	68	9月23日	115	103	3	2	1	0	0	6	12	89.6	89.6	53.1
熊鷹市越ヶ浦	7月8日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
津市阿波	7月16日	9月17日	63	10月8日	123	101	4	0	0	1	0	17	22	82.1	79.7	59.6
熊鷹市白子	7月17日	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
熊鷹市磯山	7月20日	9月15日	57	9月27日	140	135	2	0	0	0	0	3	5	96.4	96.4	40.0
四日市市宮崎	7月27日	—	—	10月19日	127	0	123	0	0	0	0	0	4	127	0	40
津市阿波	7月28日	10月6日	70	10月24日	93	62	4	0	1	2	—	20	27	66.7	90.2	65.1
津市白塚	8月1日	10月6日	66	10月15日	123	103	1	0	1	1	4	13	20	83.7	82.9	47.1

※過去の調査報告は、<http://umigamenet.jimdo.com/>で閲覧できる予定です。

4 孵化率調査

孵化率調査では子ガメが脱出した後、産卵巣を掘り、卵がいくつか孵化したかを調べます。死んでしまった未孵化卵については、発生段階などを調べ、死因を探ります。



ウミガメと砂浜の環境

伊勢湾沿岸の砂浜を見て

きて「津市の河芸、白塚、町屋の砂浜はつながっていて、奥行きもあるの得上陸・産卵が多く確認されています。阿漕から御殿場の砂浜も奥行きがあつていいですよ。」と米川さんは話します。

広くて奥行きのある砂浜の方が台風などの高波時に冠水したり、砂浜の浸食により卵が流されたりするリスクが減ると思われまふ。しかし近年、自然災害の防止や利水を目的として河川にダムや堰が造られたことが一因で、土砂が海に運ばれにくくなり、砂浜がどんどん狭くなつていまふ。こうした砂浜の環境の変化は、ウミガメの産卵に影響を及ぼしていると考えられています。

